

**事業所名** グループホーム花の里・萌  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 1月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター  
B:現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・倉敷市街地や水島地区にも近い場所に立地するグループホームであるが、ホーム周辺は交通量もさほど多くなく、のどかな田園風景の中で、季節毎の自然な変化を感じながら生活できる環境である。
- ・地域との関わりを大切に考えているホームである。積極的に地域の行事に参加したり、交流を図っている。毎年行われる祭り「萌祭」では、年々地域住民の参加も増え、今年は500人近くの方が集まった。グループホームの地域での認知度も増しており、今年5月に新たに開設した隣接のグループホーム「あなたのふるさと・萌」へは、地域からの入居者も多い。
- ・昨年度の外部評価の結果を受けて、ヘルパー2級の研修や高校生のボランティアの受け入れ等を積極的に企画している。
- ・サービスの質の向上に向け、グループホーム「あなたのふるさと・萌」との合同研修を開催している。また、職員の配置にも配慮し、入居者はゆったりとした環境の中で、職員の明るさに支えられ、自由に笑顔の多い安心の暮らしを営んでいる。
- ・看取りに関する指針が明文化され、家族の安心につながっている。特別養護老人ホームに申し込んでいたが、「萌」での生活に安心し、予約をキャンセルされた入居者もいる。職員に看護職者を配置するなど健康状態への配慮もあり、家族の安心につながっている。
- ・入居者の望む生活、楽しく落ち着いて過ごせる生活を支援しようと、さまざまなイベントが企画されている。また、グループホーム内は広々として明るく、掃除も行き届いており、清潔感がある。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特に改善の余地があると思える点は見当たらなかったが、今後はヒヤリハットについても情報を集め、さらに安心安全の生活を支援されることを期待する。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりの意思を尊重し、入居者のやりたいこと、望んでいることが実現できるよう支援していきたいと考えている。</li> <li>・「温かい、ゆとりのある人と人との交わり」をモットーに、一日一日を大切に過ごせる生活を目指している。</li> <li>・現在は入居者一人ひとりの興味や希望に応じた支援が中心であるが、今後は、入居者みんなで取り組み、楽しめるようなこともとり入れていきたいと考えている。</li> <li>・入居者の人間としての尊厳を大切に、家庭的な雰囲気の中で入居者一人ひとりの個性を生かした支援を行うことを目指している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブ、遠足、クラフト、グラウンドゴルフ、カラオケなどさまざまな行事を企画し、入居者一人ひとりが、興味のあるものを楽しんで取り組み、一日を変化のある生活で過ごせるように支援している。</li> <li>・徘徊のある入居者には、制止をせず、職員がさりげなく付いて見守るなどの配慮をしている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴の中から、入居者のできそうなことを見つけ、力が発揮できるように支援している。家事が得意な入居者には家事を手伝ってもらい、編み物や刺繍が得意な入居者には取り組めるように支援している。</li> <li>・プライバシー保護のため、個人ファイルは事務所内にきちんと保管している。面会簿は、個人ごとにファイルされ、他者の目に触れないように配慮している。</li> <li>・居室に入居する時には、入居者の許可を求めてから入るようにし、プライバシーに配慮している。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質の向上に向けて、毎月目標が立てられ、目標を実現するための具体的な計画や、月末には評価も行われている。</li> <li>・社内における研修を積極的に行っている。包括支援センターが主催する「介護教室」など社外における研修にも参加し、知識・技術の習得を図っている。</li> <li>・事故が発生した時には、再発防止に向けて、対策を話し合っている。今後は、ヒヤリハットについても情報を収集されることを期待する。</li> </ul>		